

井奥まさきの ニュース 市政報告NEWS

2004 11
 晩秋号
 No.25

このNEWSは、みどり・市民派をめざす高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

なんと1年半の間に24度もトラブル！そしてまたもや行政の情報隠し！

高砂市議 井奥まさき



とうとう24度目の事故

昨年4月に本格稼働して以来、トラブル続きだった高砂市の焼却施設が、10月に2件(23度目・24度目)、立て続けに事故を起こしてしまいました。

そして23度目の事故においては、またもや「火災事故隠し」ともいえる情報の異常な遅れがありました。

田村市長と市役所は、昨年

12月の火災事故隠しの責任をとって助役が辞職した経緯をすっかり忘れて同じアヤマチを繰り返しています。。

また、当初予定の倍以上掛かっている維持コスト(何と8000万円以上増加!)についても、メーカーに相応の負担を求める交渉は「先送り」したままです。

事故は業界の常識!?

しかし、市役所やメーカーからは開き直りのような言葉が出てきています。別所所長より「2年くらいは初期トラブルの範囲」、メーカー側から「この程度のトラブルは業界の常識」とした発言。あるいは田村市長の「市民のゴミがきちんと処理されている」「工場外にはダイオキシンが出ていない」と問題をゴマカス発言が続きます。導入時の「安全」「コスト安」「ダイオキシン抑制」とした夢の新技术の話はどうなったのでしょうか。

子育ても、行政も真剣さと素直さが大事

田村市長達にピッタリの言葉を贈ります。

「真剣に物事に取組んでいれば、もし、失敗をしても、真摯に反省して謝罪もできます。いい加減でデタラメをして、失敗したのであれば、謝罪もできずに、ゴマカすしか出来なくなってしまう。」(子育て掲示板にあった書き込みより)

今の行政のままではいけません。私は仲間の議員と以下の提言を行い、実現を目指したいと考えています

1) 田村市長は、センター長(義理の弟にあたる)を含め、美化センターの人事を一新すること

2) 市長自らも意識と態度を入れ替えて市民にきちんと

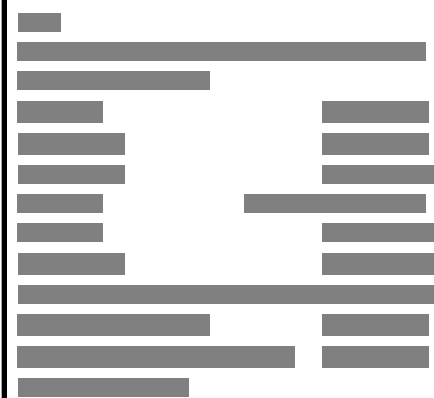
2003年(平成15年)

1	4/9	ごみクレーン端子台の溶着
2	5/12	2号ごみ破砕機
3	5/26	2号炉 耐火材の溶損
4	6/7	1号炉 耐火材の溶損
5	6/9	2号炉 耐火材の溶損
6	6/21	1号炉給じんシール装置
7	6/21	2号炉 灯油漏れ
8	8/24	2号炉 出口閉塞
9	9/11	ダイオキシン発生(レベル3)
10	11/27	1号炉 火災事故=情報隠ぺい
11	12/10	2号炉 流動不良
12	12/18	1号炉 流動不良

2004年(平成16年)

13	2/17	ダイオキシン発生(レベル2)
14	3/24	2号炉 スラッグ閉塞
15	4/19	1号炉 火災事故
16	7/18	1号炉 減温塔廻り水漏れ
17	7/30	2号炉 コンベア故障
18	8/4	2号炉 給じんシール装置故障
19	8/13	1号炉 定量フィーダ作動不良
20	7/22	ダイオキシン発生(レベル2)
21	8/31	2号炉 誘引通風機故障
22	8/11	ダイオキシン発生(レベル3)
23	10/2	2号炉 火災事故=情報隠ぺい
24	10/24	1号炉 二次燃焼室キャスト脱落

井奥まさきの財政公開



市政のミニ知識 裏面にありますように、二〇〇五年四月一日より部が再編されます。市民部、健康市民部、美化部+生活経済部+(市民活動部分)、生活環境部 など

9月議会の争点



のどもと過ぎれば・・・

財政破綻の責任者

原明範氏の助役就任に19人の議員が賛成

野）（議長に加古氏は採決に加わらず）

忘れやすい議員と行政

人間ってどうしてこう忘れやすいのでしょうか。原氏の助役が圧倒的多数で承認された席で私はそう感じました。

2002年の選挙直前に「地方交付税交付金の10億円の過大見積もり」が判明しました。候補者は口々に「このような過大見積もりのない健全な行政運営を」と訴えました。それでも過大見積もりに賛成した現職議員が3名も落選し

ました。過大見積もり当時の財政関係の担当者は原氏でした。過大な公共事業の担当者

また、選挙直後の行財政改革の議論では「平成11年、12年の公共事業は過大だった」とついに行政も認めました。

必要性の薄い公民館エレベーター、32人会員向けの漁協集会場など総額約70億もの公共事業を実施。その当時の財政担当者も原氏です。



スケジュール公開中
ブログ（日記）も更新中

こうした議論の結果、原氏は責任を取る形でその職を退きました。しかし、今回は助役として復活しました。田村市長は、財政破綻の責任者を助役にして、どうやって行財政改革を推進するのでしょうか。

私は、議会で上記のように発言し、助役人事に反対しました。

本当に市民に役立つ政策を 「機構改革」「給食委託」...

カッコだけの施策たち

田村市長の政策に対して、私は常々「理念がない」「先送り」と批判してきましたが、それに「カッコだけ」という言葉を追加しなくてはならないようです。

9月議会に次々と出てきた「機構改革」「給食委託」はカッコだけ政策の典型だと思われます。

私はそれを議会で「『機構改革』という言葉が欲しいのですか？ 財政改革や意識向上という本質が必要なのではないのでしょうか？」

と田村市長に問いかけました。実際の問題には手つかず

例えば、機構改革で言えば、議会で議論しても減るのは部長2人分だけ。私が指摘している「参事」や「次長」「副課長」といった無駄な役職には手をつけずじまいです。

給食委託に関しても、直営のままでも雇用方法を見直せば「民間委託よりも財政効果はその方が上」と担当者から答弁がありました。

現在の案は民間委託に不安を感じる市民にも、財政効果を求める市民にも中途半端な施策です。一方で、公営の職員の働き方（夏休み、日常の空き時間）といった問題は手つかずのままです。例えば、他市ではその時間を高齢者の配食サービスに利用したり工夫があるのですが。

見せかけでなく、実際に高砂市を変革する具体的な政策が必要です。そうした政策の種を順次ニュースで発表していきます。

市政のへえ～ 豆知識

11月に私も父親になります。子どもが生まれるとなると様々な手続きが必要となります。妻と悩みながら発見した豆知識を掲載します。

母子手帳の交付 / 保育園への入園方法

母子手帳の受け取り

母子手帳は「福祉保健センター」にて定例の受取日があります（広報参照）。それ以外でも本庁の市民課、あるいは各サービスコーナーで受け

取れます。

保育園の入所

保育園には園区がなく、柔軟に対応してもらえます。待機児童ゼロは高砂市の誇りの一つです。43-9025（保育所係）

